

シラバス参照

開講年度	2010
科目名	情報経済論
職名／担当教員	経済学部 教授 望月 宏
期間／曜日／時限	通年 水曜日 3時限
開講区分／校舎	一部生田／生田
配 当	E 2 3 4, W 3 4
単 位	4

講義内容	<p><講義概要></p> <p>米国で組織構造の革新的な変革の手段であるとされる「リエンジニアリング」の検討をするなかで情報技術の役割を明らかにすることから始まり、情報技術の本質、過去の技術との相違、情報投資の実態、組織と技術との関係などの基本的な視点をまず検証する。これに併せた形で、理論的な側面である、情報の価値、ネットワーク論、情報経済論、情報の産業連関分析などを学ぶ。また、産業のケーススタディとして、情報技術とつながりの深い通信産業に光をあて規制緩和などの経済的、政策的な側面を他国と比較しながら検証する。</p> <p><講義計画></p> <p>リエンジニアリングと情報技術 組織と情報 情報技術の本質 分業と情報技術 情報化投資と経済 技術の発展段階 組織と市場とネットワーク ネットワーク論 情報経済論の流れ 情報財の特質 情報の価値 機会費用と情報 リスクと情報 情報経済の計量分析 日本経済の情報化 情報経済学 …モラルハザード …逆選抜 …シグナリング …交渉 …オークション …情報の非対称性 ゲームの理論 情報、通信産業論（日本、アメリカ、ヨーロッパ、およびアジア） 規制と競争の理論 ネットワーク経済の構造 電気通信産業の競争戦略 電気通信市場における経済的規制 国際電気通信市場の競争戦略</p> <p><教科書></p> <p>教科書は特に指定しない。</p> <p><参考書></p> <p>以下の本は、参考書として随時講義のなかで利用する。 マッケナン著、秋葉訳、『不確実性の経済学』、多賀出版 広松、大平著、『情報経済のマクロ分析』、東洋経済新報社 林、松清著、『テレコミュニケーションの経済学』、東洋経済新報社</p>
------	--

	ハマー, チャンピー著, 野口訳, 『リエンジニアリング革命』, 日本経済新聞社 経済企画庁調整局編, 『日本経済の情報化』, 大蔵省印刷局
成績評価方法・基準	全回出席と真摯な授業態度を原則とした上で、毎回の授業のまとめ、論考、および課題をネット上へ提出、および最終レポートにより判定する。
履修上の留意点	
担当教員へのアクセス	メールによる (mochizuki@post.harvard.edu)
その他	
更新日付	2010/02/12 22:25